

日本列島北部周辺、とりわけ北海道の先住民であるアイヌの人たちは、自然の恵みに感謝し、人間を深く愛し、平和な暮らしを送っていた民族です。

明治になって、蝦夷地は北海道と改められ、本州などから多くの移住者が来しました。このため、少数者となったアイヌの人たちは、伝統的な生活や生産の手段を失い、貧困にあえぎました。また、近年に至るまで、いわれのない多くの差別などを受けてきました。

今では、伝統的な生活を続けている人はいませんが、その生活は必ずしも恵まれた状態にあるとはいえません。

アイヌとは、どんな歴史や文化、生活習慣を持つ人たちなのか。そして現在どのような状況にあるのか。それらのことを正しく知ることが必要だと思います。

この小冊子は、全ての国民が相互に人格と個性を尊重し合いながら、共生する社会の実現に資するよう編集したものです。

アイヌとは「人間」という意味

- 2- 人 (ひと)
- 4- 言 (はなす)
- 6- 衣 (きる)
- 8- 食 (たべる)
- 10- 住 (すむ)
- 12- 祈 (いのる)
- 14- 史 (あゆみ)
- 16- アイヌにかかわる歴史上のできごと

もっと深く知るために

- 18- アイヌ生活実態調査
- 20- 生活向上に関する推進方策
- 22- アイヌ文化振興法制定までのあゆみ
- 24- アイヌ文化振興法の制定
- 26- アイヌ施策推進法の制定
- 28- 国際的な動き
- 30- (公財)アイヌ民族文化財団の概要

〈参考資料〉

- 32- アイヌの人たちの生活向上に関する推進方策(第3次)
- 35- 「北海道外アイヌの生活実態調査」作業部会報告の概要
- 36- 「イランカラフテ」キャンペーン
- 38- ウポポイ(民族共生象徴空間)の概要
- 39- ウポポイ官民応援ネットワークの取組
- 40- アイヌ常設展示のある主な施設

巻末- 国民一人ひとりのご理解を

アイヌとは「人間」という意味

(ゴザ:新ひだか町教育委員会提供)